
桃桜の見せる夢 第一咲・枯れた木の下の出会いと消え行く小さき炎

板橋 深夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桃桜の見せる夢 第一咲・枯れた木の下の出会いと消え行く小さき炎

【Nコード】

N6702P

【作者名】

板橋 深夜

【あらすじ】

幼い頃に親に虐待され、その虐待に耐えなくなって自らの両親を殺してしまった少年「神澤 蒼空」

ある日、昔は春になれば花を咲かせていた大きな桃桜の木…その枯れた桃桜の木の下で不思議な力を秘めた剣を持つ少女「ブレイ」と出会い、蒼空の暮らしは変わってしまう。

ブレイは何者か…そして蒼空はこれからどうなるのか……運命は光

と闇、どちらに傾くのか。

桃桜の見せる夢……枯れた木が再び開花し始める頃、決戦の火蓋が木
つて落とされる……。

（前書き）

初めまして、板橋です

小説を書くのは余り無いので見苦しい小説となってしまうかもしれませんが今後ともよろしく願います

気付けば何もない空間に一人で立っていた。

闇って言うのはこういう光景のことを言うのだろうか……。

見渡す限り光なんてない……それどころか生き物の声や音も全く聞こえてこない。

蒼空「何だ…此处は…」

“……………けて……………”

蒼空「声…？」

幼い少女の声が聞こえてきたのに気付くと辺りを見渡すが周りには変わらず何も無い。

“…か……………けて……………”

声が段々とハッキリと耳に……………いや、脳に直接届いてくる。

“…れか……………すけて……………”

誰だ…。

“誰か、助けて…!”

最後にハッキリと声が聞こえれば辺りに光が満ち、その空間から弾き出されるようにしてさっきからずっと居た空間から出された。

蒼空「…っ！」

闇の空間から出ると同時に目を開けて勢い良くベットに横たわっている体を上半身のみ勢い良く起こした。

蒼空「ゆ…め…？」

ベットの上に上半身だけ起こした状態で辺りを見渡しながら普段使っている部屋である事を確認すると安心に肩の力を抜きながら息を深くつき‘変な夢だ’と小さく呟きながらベットから体を出して青い寝巻きから全体的に黒い私服へと着替えて黒いロングコートを羽織り、部屋から出て行く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6702p/>

桃桜の見せる夢 第一咲・枯れた木の下での出会いと消え行く小さき炎

2010年12月30日20時22分発行